

# 岡山市連合婦人会会報

花と緑の  
あふれる  
まちづくり



令和6年12月5日  
編集兼発行人  
岡山市連合婦人会  
岡山市北区大供一丁目一  
生西学館内  
塩見 博子  
電話 八三二一六〇六

婦人文化祭

## 煌びやかに練習成果発表

### 8チームが民踊や剣詩舞、コーラス

令和六年十月十二日（金）岡山ふれあいセンターにおいて第四十八岡山市婦人文化祭が開催されました。長年にわたり慣れ親しんだ市民文化ホールから会場を変え、新たな気持ちで臨みました。

塩見会長が「日頃から禮を重ねられた成果を存分に発揮され、相互の親睦を深め楽しんでいただきたいと思ひます。また、若い世代に伝統文化の良さを伝えていくため一掃に頑張らしましょう」と開会挨拶をしました。

来賓の大森市長は「岡山市が半世紀ぶり女性の平均寿命が全

国一位になりましたが、野菜を食べる量が少ない傾向にあります。ベジファーストを心掛け健康的に過ごしたいと思ひます。今日はお祝いの言葉を述べられました。暖かい気候と医療の充実で長寿の理由になっているそうです。そんな環境の良いところに住んでいる我々は、感謝したいと思います。

短い時間でしたが、出演の八チームによる煌びやかな衣装での踊り、剣舞のメリハリのあふれる、美しい歌声のコーラスなど日頃の成果が披露されました。みんなと一緒に拍手で歌ったり楽しい限りでした。民踊・剣詩舞・着物を着たダンス・コーラスなど、たくさんの方の出演を頂き、相互の交流・親睦を深めることができたとと思ひます。

閉会式ではすべてのチームにユニークな賞が贈られました。

倉田副会長から「素晴らしい演技を見せていただき感謝申し上げます。開催にあたり色々な方々の協力をいただきましたこと感謝申し上げます。来年も良い演技で元氣と感動をいただきたいと思ひます」と閉会の挨拶がありました。



舞台へ拍手送る観客と最前列3名の審査員

## アートの島へ会長研修

### 香川 まちづくりのヒント学習



令和六年七月十二日（金）会長研修が行われました。

前日からの雨もバスが宇野港に着くころにはやんでいました。宇野港からでるフェリーに乗り遅れては困るので、例年より出発時間が三十分ほど早く設定されていました。行先は香川県直島町。他の委員とかさなつたため欠席した人が何人かいました。

私たちが地域の女性リーダーとして心のかま「ひとづくり」「まちづくり」を進めていくうえで、活動のヒントとなる学習をし、情報を得ることです。

直島はいまや知らない人がいないほどのアートの島です。始まりはベネッセ・福武財団の取り組みからです。長い年月をかけて

ベネッセハウスミュージアムにアートを溶け込ませていきました。アート目当てに島を訪れた人々と地元の人との交流が生まれております。

私たちが今回見学したのは、安藤忠雄設計の地中美術館、ベネッセハウスミュージアム。家プロジェクトは車の中から見学。地中美術館は十五分おきに少人数ずつ入館という厳しい規制がかかっておりました。クロード・モネの「睡蓮」の展示場には入り口でスリッパに履き替えて入場。光そのものをアートとして提示する作家の三作品は幻想的な作品や不思議なものでした。現代アートの理解はなかなか難しいと実感しました。

島にはたくさん外国人観光客が来ています。少子高齢化や過疎化に直面していた直島はアートの島として見事によみがえっていった。



桟橋の上に直に置かれた「南瓜」（重中より撮影）

ベネッセハウスミュージアムへ設置の「船底と六」